学校番号	219

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2 年生で身に着けた学習態度をさらに深め、主体的に制作や鑑賞活動に取り組んでもらいたい。この授業で獲得した「物事に取り組むにはどうすればよいのか」という姿勢は美術に留まらず、これからの人生に役立つはずだと考えています。

2　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、完成と美意識を磨き、美術の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心を持ち、美術文化を尊重し、主低的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などを理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評価方法	観察等 ワークシート アイデアスケッチ	観察等 ワークシート アイデアスケッチ 提出作品	観察等 ワークシート 提出作品	観察等 ワークシート 鑑賞レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	美術ってなんだろう	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学び、「美術Ⅲ」の学習イメージを持つ	○	○	○	○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d:美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化ついての理解を深めている。 c:対象を見つめて、形体の特徴をつかみ、構成などを工夫している。 d:デッサンの目的を理解し、鉛筆の特性を生かして表現している。	観察等 ワークシート 鑑賞レポート
	風景スケッチ	【絵画】【デザイン】 ・風景スケッチを描く ①透視図法を理解する ②スケッチ ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:課題説明及びスケッチに集中して取り組めたか b:説明通りに補助線等を活用して正確に形をとらえたか c:陰影の表現に工夫して立体的に描けているか d:客観的に自作品を観察し良い点反省点及び感想を丁寧に記入できているか	観察等 ワークシート アイデアスケッチ 提出作品
	風景画制作	【絵画】【鑑賞】 ・アクリルガッシュで描く ・相互鑑賞	○	○	○	○	a:課題説明及び制作に集中して取り組めたか。 b:画面内に効果的な構図が描けているか、それぞれの画材の特色を生かしているか c:遠近法・透視図法を活用し、空間表現ができているか d:自作他作への客観的な感想や良い点反省点を丁寧に記入できているか	観察等 提出作品 鑑賞レポート

2	キーホルダー制作	【デザイン】【鑑賞】 ・鑑賞 ①作品例鑑賞 ②制作工程の説明。 ・鋳造 ①デザインを決める ②型の制作・鋳造 ③やすりで研ぐ ④研磨 ・校内展示（鑑賞）	○	○	○	○ ○	a：意図や表現を考えて表現することに興味を持ち主体的に活動している。 b：金属の特性を生かし、できる条件内で表現できる内容を工夫し構想を練っている。 c：材料の美しさを理解し、表情に工夫して効果的に、かつ、条件や計画を基に表現している。 d：作品のよさについて理解を深めている	観察等 ワークシート アイデアスケッチ 提出作品 鑑賞レポート
3	絵画制作	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・絵画制作 ①制作計画とアイデア ②構想 ③描画する ④完成作品に仮額装する ・校内展示（鑑賞）	○	○	○	 ○	a：主題をみつけ自分の表現したいモチーフや風景などを決め、表現活動に主体的に取り組んでいる b：表現や色彩や材料の効果を工夫し、構図や構想を練っている。 c：表現したい世界観に基づき、画材の色彩効果や、表現方法を工夫して計画的に制作をしている。 d：他の作品のよさや作者の意図を汲み取り作品に対して理解を深めている。	観察等 ワークシート アイデアスケッチ 提出作品 鑑賞レポート